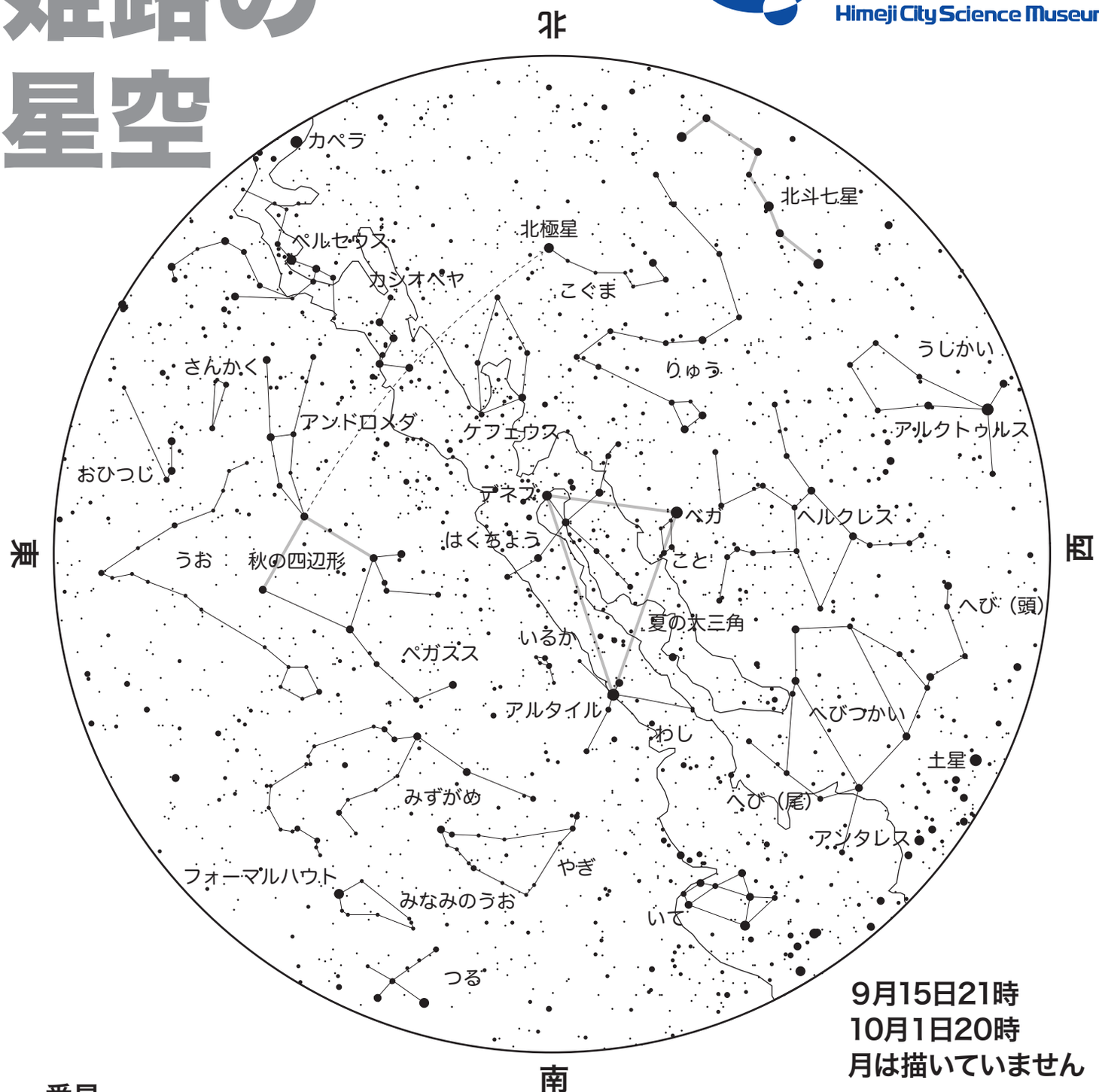
姫路の星空

姫路科学館
Himeji City Science Museum



9月15日21時
10月1日20時
月は描いていません

一番星

少し暗くなると、南西の空に土星、西の空にうしかい座のアルクトゥルス、頭の上にはこと座のベガが見え出します。みなさんには、どれが１番に見えるでしょうか？

夏の星（南の空〜天頂）

東の空高く夏の大三角が見えます。三角を作るのは、こと座のベガ（織女星）、わし座のアルタイル（彦星）、はくちょう座のデネブです。空の暗いところでは、夏の大三角に重なるように天の川が見えます。かすかな光なので、街明かりや月明かりの邪魔のない空が澄んだ夜に、暗闇に十分目を慣らして探してみましょう。南西の低空には土星やさそり座のアンタレスも見えます。

秋の星（東の空）

東の空には秋の星が見えています。東の空を駆け上がる天馬ペガスス座の胴体にあたるのが、秋の夜空の目印「秋の四辺形」です。ここから北に向かうと、W型のカシオペヤ座をへて北極星が見つかります。秋の星座は暗い星が多いので、空気が澄む秋本番を迎えてからお楽しみください。